

## ⑤ 中高 保健体育科問題の解答について (注意)

1. 解答はすべて、別紙のマークシートに記入すること。
2. マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
3. 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照) 消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
4. 名前の記入 名前を記入すること。
5. 教科名の記入 教科名に「保健体育」と記入すること。
6. 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
7. 解答の記入
  - ア. 小問の解答番号は1から60までの通し番号になっており、例えば、25番を 25 のように表示してある。
  - イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
  - ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
  - エ. 各問いに対して一つずつマークすること。

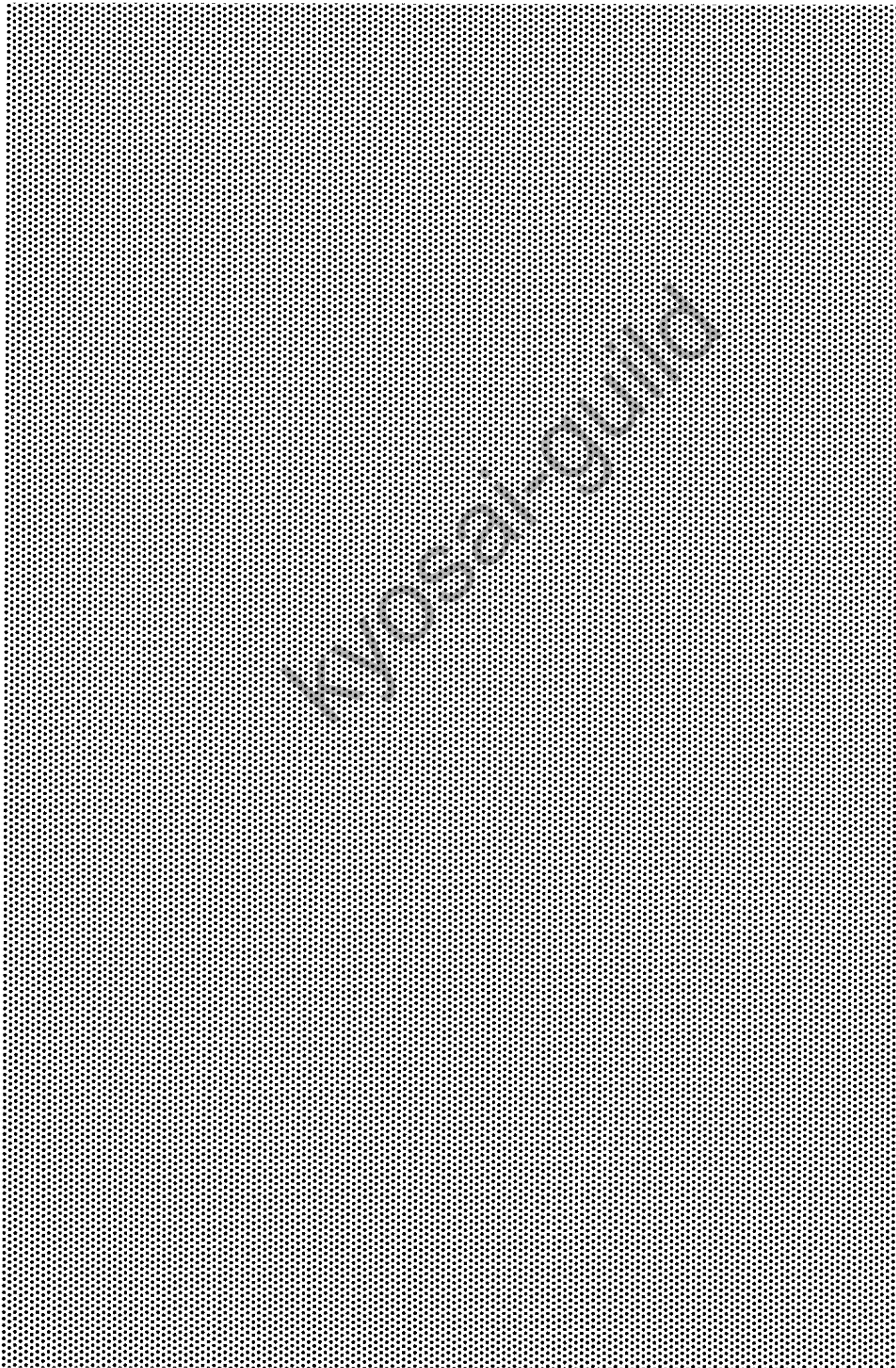
(マークシート記入例)

フリガナ	コウベ タロウ	教科名	保健体育
名前	神戸 太郎		

数字で記入……

受験番号				
1	2	3	4	0
○	○	○	○	●
●	○	○	○	○
○	●	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○
○	○	○	○	○

小問 番号	解答記入欄										小問 番号	解答記入欄										小問 番号	解答			
	1 - 25											26 - 50											51			
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	26	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	51	○	○	○	○
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	27	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	52	○	○	○	○
3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	53	○	○	○	○
4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	29	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	54	○	○	○	○
5	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	30	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	55	○	○	○	○
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	31	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	56	○	○	○	○
7	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	32	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	57	○	○	○	○
8	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	33	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	58	○	○	○	○
9	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	34	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	59	○	○	○	○
10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	35	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	60	○	○	○	○
11	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	36	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	61	○	○	○	○



【1】 次の問いに答えよ。

(1) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における道徳教育に関する記述のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にある。
- ② 多様な価値観の、時に対立がある場合は、対立が大きくなるように、問題に触れないように振舞うことが、道徳教育で養うべき基本的資質である。
- ③ 道徳教育は、自己の生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した一人の人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とする。
- ④ 学校における道徳教育は、特別の教科である道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行うものである。
- ⑤ 学校における道徳教育は、児童（\*生徒）の発達の段階を踏まえて行わなければならない。（\*は、中学校、特別支援学校中学部）

1

(2) 次の文は、「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）における道徳科の目標の一部である。（ア）～（ウ）にあてはまる適切な語句の組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、（ア）についての理解を基に、自己を見つめ、物事を（\*広い視野から）（イ）に考え、自己の（\*人間としての）生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、（ウ）と態度を育てる。

（\*は、中学校、特別支援学校中学部）

- ① （ア） 道徳的諸価値 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 実践意欲
- ② （ア） 道徳的諸価値 （イ） 総合的 （ウ） 論理的思考力
- ③ （ア） 人権 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 論理的思考力
- ④ （ア） 人権 （イ） 総合的 （ウ） 実践意欲
- ⑤ （ア） 道徳的諸価値 （イ） 多面的・多角的 （ウ） 論理的思考力

2

- (3) 「小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（平成29年7月 文部科学省）「第3章 道徳科の内容」では、指導すべき内容項目をA B C Dの4つの視点で分類整理し、その内容を端的に表す言葉を付記したものを見出しにして、内容項目ごとの概要、（\*学年段階ごとの）指導の要点を示している。次のアとイはA B C Dのどの視点に分類されるものであるか、適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。
- （\*は、小学校、特別支援学校小学部）

ア [礼儀]

イ [伝統と文化の尊重, 国家や郷土を愛する態度]

項目

A 「主として自分自身に関すること」

B 「主として人との関わりに関すること」

C 「主として集団や社会との関わりに関すること」

D 「主として生命や自然, 崇高なものとの関わりに関すること」

- ① ア A    イ B  
② ア A    イ C  
③ ア B    イ C  
④ ア B    イ D  
⑤ ア C    イ B

【2】「中学校学習指導要領解説 保健体育編」（平成29年7月 文部科学省）に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、総説に関する体育・保健分野の改善の具体的事項についての記述である。文中の（ア）～（ウ）にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・スポーツの意義や（ア）等の理解につながるよう、内容等について改善を図る。特に、東京オリンピック・パラリンピック競技大会がもたらす成果を次世代に引き継いでいく観点から、知識に関する領域において、オリンピック・パラリンピックの意義や（ア）等の内容等について改善を図る。
- ・体を動かす楽しさや心地よさを味わうとともに、健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性を認識し、運動やスポーツの習慣化につなげる観点から、（イ）の内容等について改善を図る。
- ・個人生活における健康・安全についての『知識・技能』、『思考力・判断力・表現力等』、『学びに向かう力・人間性等』の育成を重視する観点から、内容等の改善を図る。その際、心の健康や疾病の予防に関する健康課題の解決に関わる内容、ストレス対処や心肺蘇生法等の（ウ）に関する内容等を充実する。

- ① （ア） 価値 （イ） 体づくり運動 （ウ） 知識
- ② （ア） 目的 （イ） 体づくり運動 （ウ） 知識
- ③ （ア） 価値 （イ） 体づくり運動 （ウ） 技能
- ④ （ア） 目的 （イ） 体ほぐしの運動 （ウ） 技能
- ⑤ （ア） 価値 （イ） 体ほぐしの運動 （ウ） 知識

- (2) 次の文は、保健体育科改訂の趣旨における改善の留意点に関する記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

体力の向上については、心身ともに成長の著しい時期であることを踏まえ、「体づくり運動」の学習を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わわせるとともに、健康や体力の状況に応じて体力を高める(ア)を認識させ、「体づくり運動」以外の運動に関する領域においても、学習した結果としてより一層の体力の向上を図ることができるようにする。

さらに、学習した成果を(イ)や実社会に生かすこと及び運動やスポーツの習慣化を促す観点から、(ウ)や保健との関連、教科外活動や学校生活全体を見通した教育課程の工夫を図るようにする。

- ① (ア) 必要性 (イ) 実生活 (ウ) 体育理論  
② (ア) 可能性 (イ) 学校生活 (ウ) 知識  
③ (ア) 可能性 (イ) 実生活 (ウ) 知識  
④ (ア) 必要性 (イ) 学校生活 (ウ) 知識  
⑤ (ア) 必要性 (イ) 学校生活 (ウ) 体育理論

5

- (3) 次の文は、保健体育科改訂の要点における体育分野の内容及び内容の取扱いに関する記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

豊かなスポーツライフの実現を重視し、スポーツとの多様な関わり方を楽しむことができるようにする観点から、(ア)の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を(イ)ことができるよう、共生の視点を踏まえて指導内容を示すこととした。

また、「内容の取扱い」及び「指導計画の作成と内容の取扱い」に、生徒が選択して履修できるようにすることや、体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず運動やスポーツを楽しむことができるようにすることを示すとともに、生徒の(ウ)に応じた配慮の例を示した。

- ① (ア) 興味や関心 (イ) 共有する (ウ) 技能差  
② (ア) 体力や技能 (イ) 共有する (ウ) 困難さ  
③ (ア) 体力や技能 (イ) 実感する (ウ) 技能差  
④ (ア) 体力や技能 (イ) 実感する (ウ) 困難さ  
⑤ (ア) 興味や関心 (イ) 実感する (ウ) 技能差

6

(4) 次の文は、保健体育の見方・考え方についての記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の正しい組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

体育の見方・考え方については、生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現する観点を踏まえ、「運動やスポーツを、その価値や(ア)に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の(イ)関わり方と関連付けること」、保健の見方・考え方については、疾病や傷害を防止するとともに、生活の質や生きがいを重視した健康に関する観点を踏まえ、「個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や(ウ)の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること」であると考えられる。

- ① (ア) 特性 (イ) 多様な (ウ) 健康の質
- ② (ア) 目的 (イ) 多様な (ウ) 健康の質
- ③ (ア) 特性 (イ) 個人的 (ウ) 健康の質
- ④ (ア) 目的 (イ) 個人的 (ウ) 生活の質
- ⑤ (ア) 特性 (イ) 多様な (ウ) 生活の質

7

(5) 次の文は、保健体育科改訂の要点における指導計画の作成と内容の取扱いの改善に関する記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

・体育分野及び保健分野に配当する年間の授業時数は、従前どおり、3学年間を通して、体育分野は(ア)程度、保健分野は48単位時間程度とすることとした。  
・体育分野の内容の「体づくり運動」の授業時数については、従前どおり、各学年で(イ)以上を、「体育理論」の授業時数については、各学年で(ウ)以上を配当することとした。

- ① (ア) 276単位時間 (イ) 7単位時間 (ウ) 3単位時間
- ② (ア) 276単位時間 (イ) 5単位時間 (ウ) 3単位時間
- ③ (ア) 267単位時間 (イ) 7単位時間 (ウ) 3単位時間
- ④ (ア) 267単位時間 (イ) 7単位時間 (ウ) 5単位時間
- ⑤ (ア) 267単位時間 (イ) 5単位時間 (ウ) 5単位時間

8

- (6) 次の文は、保健体育科における指導計画の作成についての配慮事項に関する記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

・運動の楽しさや健康の意義等を発見し、運動や健康についての興味や関心を高め、課題の解決に向けて(ア)自ら取り組み、学習を振り返るとともにそれを考察し、課題を修正したり新たな課題を設定したりするなどの主体的な学びを促すこと。

・運動や健康についての課題の解決に向けて、生徒が他者(書物等を含む)との(イ)を通して、自己の思考を広げ深め、課題の解決を目指して学習に取り組むなどの対話的な学びを促すこと。

・習得・活用・探究という学びの過程を通して、自他の運動や健康についての課題を発見し、解決に向けて(ウ)を重ねながら、思考を深め、よりよく解決するなどの深い学びを促すこと。

- ① (ア) 粘り強く (イ) 対話 (ウ) 協議  
② (ア) 意欲をもって (イ) 比較 (ウ) 試行錯誤  
③ (ア) 意欲をもって (イ) 対話 (ウ) 協議  
④ (ア) 粘り強く (イ) 比較 (ウ) 試行錯誤  
⑤ (ア) 粘り強く (イ) 対話 (ウ) 試行錯誤

9

- (7) 次の文は、指導計画の作成における配慮事項に関する記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

体育分野においては、学習に必要な情報の収集やデータの管理・分析、課題の発見や解決方法の選択などにおける(ア)の活用が考えられる。また、保健分野においては、健康情報の収集、健康課題の発見や解決方法の選択における情報通信ネットワーク等の活用などが考えられる。

なお、運動の実践では、(イ)として活用するとともに、効果的なソフトやプログラムの活用を図るなど、活動そのものの(ウ)を招かないよう留意することが大切である。

また、情報機器の使用と健康との関わりについて取り扱うことにも配慮することが大切である。

- ① (ア) コンピューター (イ) 中心的手段 (ウ) 停滞  
② (ア) ICT (イ) 補助的手段 (ウ) 低下  
③ (ア) ICT (イ) 中心的手段 (ウ) 停滞  
④ (ア) ICT (イ) 補助的手段 (ウ) 停滞  
⑤ (ア) コンピューター (イ) 補助的手段 (ウ) 低下

10



(8) 次の文は、指導計画の作成における配慮事項に関する記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

・自分の力をコントロールすることが難しい場合には、状況に応じて力のコントロールができるよう、力を出し方を視覚化したり、力の入れ方を(ア)したりするなどの配慮をする。

・グループでの準備や役割分担が難しい場合には、準備の必要性やチームで果たす役割の意味について理解することができるよう、準備や役割分担の(イ)や生徒の実情に応じて取り組むことができる役割から段階的に取り組ませるなどの配慮をする。

・保健の学習で、実習などの学習活動に参加することが難しい場合には、実習の手順や方法が理解できるように、それらを(ウ)に示したり、一つ一つの技能を個別に指導したりするなどの配慮をする。

- ① (ア) 数値化 (イ) 事前の確認 (ウ) 視覚的  
② (ア) 数値化 (イ) 視覚的な明示 (ウ) 視覚的  
③ (ア) 具体化 (イ) 事前の確認 (ウ) 構造的  
④ (ア) 数値化 (イ) 視覚的な明示 (ウ) 構造的  
⑤ (ア) 具体化 (イ) 事前の確認 (ウ) 視覚的

11

(9) 次の文は、指導計画の作成における配慮事項に関する記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

オリンピック・パラリンピックに関する指導の充実を図る観点から、パラリンピック競技大会で実施されている種目などの(ア)を体験するなどの工夫も考えられる。その際、障害の(イ)にかかわらず、全ての生徒が(ウ)な体験となるように留意することが大切である。

- ① (ア) ユニバーサルスポーツ (イ) 程度や特性 (ウ) 実施可能  
② (ア) 障害者スポーツ (イ) 種別や状態 (ウ) 選択可能  
③ (ア) ユニバーサルスポーツ (イ) 種別や状態 (ウ) 実施可能  
④ (ア) 障害者スポーツ (イ) 程度や特性 (ウ) 選択可能  
⑤ (ア) 障害者スポーツ (イ) 程度や特性 (ウ) 実施可能

12

【3】「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(平成30年7月 文部科学省)に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、保健体育科改訂の要点における各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱いの改善に関する記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

・内容の「A体づくり運動」に対する授業時数については、各年次で(ア)程度を、内容の「H体育理論」に対する授業時数については、各年次で(イ)以上を配当することとした。

・「体育」の内容の「B器械運動」から「Gダンス」までの領域の授業時数は、その内容の(ウ)を図ることができるよう考慮して配当することとした。

- ① (ア) 8～10単位時間 (イ) 6単位時間 (ウ) 定着
- ② (ア) 7～10単位時間 (イ) 5単位時間 (ウ) 習熟
- ③ (ア) 8～10単位時間 (イ) 6単位時間 (ウ) 習熟
- ④ (ア) 7～10単位時間 (イ) 6単位時間 (ウ) 習熟
- ⑤ (ア) 8～10単位時間 (イ) 5単位時間 (ウ) 定着

13

(2) 次の文は、保健体育科改訂の要点における内容及び内容の取扱いの改善に関する記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

高等学校においては、社会で生きていくために必要となる力を共通して身に付ける「(ア)」の観点と、一人一人の生徒の進路に応じた多様な可能性を伸ばす「(イ)」の観点を軸としつつ、育成を目指す資質・能力を明確にし、それらを育てていくことが大切である。

特に、(ア)の観点からは、義務教育段階での学習内容の(ウ)を図ることが、高等学校保健体育科で育成を目指す資質・能力を身に付ける視点からも重要である。そのため、入学年次においては、引き続き中学校第3学年の内容を取り上げ、解説において、入学年次とその次の年次以降の学習のねらいや内容をそれぞれ具体的に示すこととした。

- ① (ア) 共通性の確保 (イ) 多様性への対応 (ウ) 確実な定着
- ② (ア) 共通性の確保 (イ) 多様性への理解 (ウ) 確実な定着
- ③ (ア) 共通性の確保 (イ) 多様性への対応 (ウ) 確実な理解
- ④ (ア) 共通性の理解 (イ) 多様性への理解 (ウ) 確実な定着
- ⑤ (ア) 共通性の理解 (イ) 多様性への対応 (ウ) 確実な理解

14

(3) 次の文は、教科の目標についての記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

心と体を一体として捉えとは、生徒の心身ともに健全な発達を促すためには心と体を一体として捉えた指導が重要であることから、引き続き強調したものである。すなわち、心と体の発達の状態を踏まえて、運動による心と体への効果や健康、特に心の健康が運動と(ア)に関連していることなどを理解することの大切さを示したものである。そのためには、「(イ)」など具体的な活動を通して心と体が深くかかわっていることを体得するよう「(ウ)」などの内容との関連を図って指導することが必要である。

- ① (ア) 密接 (イ) 体づくり運動 (ウ) 生活習慣病の予防と回復
- ② (ア) 相対的 (イ) 体づくり運動 (ウ) 精神疾患の予防と回復
- ③ (ア) 密接 (イ) 体ほぐしの運動 (ウ) 精神疾患の予防と回復
- ④ (ア) 相対的 (イ) 体ほぐしの運動 (ウ) 精神疾患の予防と回復
- ⑤ (ア) 密接 (イ) 体ほぐしの運動 (ウ) 生活習慣病の予防と回復

15

(4) 次の文は、「保健」の目標についての記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、(ア)な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うとは、保健の思考力、判断力、表現力等に関する資質・能力の育成についての目標である。健康に関わる事象や(イ)などから(ウ)の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考したり、様々な解決方法の中から適切な方法を選択するなどの判断をしたりするとともに、それらを他者に表現することができるようにすることを旨としたものである。

- ① (ア) 計画的 (イ) 運動能力 (ウ) 自他や社会
- ② (ア) 効率的 (イ) 健康情報 (ウ) 自他や社会
- ③ (ア) 計画的 (イ) 健康情報 (ウ) 家庭や社会
- ④ (ア) 計画的 (イ) 健康情報 (ウ) 自他や社会
- ⑤ (ア) 効率的 (イ) 運動能力 (ウ) 家庭や社会

16

【4】保健分野に関する内容について、次の問いに答えよ。

- (1) 次の文は、「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(平成30年7月 文部科学省)における精神疾患の予防と回復に関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

精神疾患の予防と回復には、身体の健康と同じく、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた生活を実践すること、早期に心身の不調に気付くこと、心身に起こった反応については、a. 体づくり運動などのb. リラクゼーションの方法でストレスを緩和することなどが重要であることを理解できるようにする。

また、心身の不調時には、不安、抑うつ、焦燥、不眠などの精神活動の変化が、通常時より強く、持続的に生じること、心身の不調の早期発見と治療や支援の早期の開始によって、回復改善性が高まることを理解できるようにする。その際、自殺の背景にはうつ病をはじめとする精神疾患が存在することもあることを理解し、できるだけ早期に専門家に援助を求めることが有効であることにも触れるようにする。

- ① a ○ b ○ c ○  
② a × b ○ c ×  
③ a ○ b × c ○  
④ a × b ○ c ○  
⑤ a × b × c ×

- (2) 次の文は、「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(平成30年7月 文部科学省)における現代の感染症とその予防に関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

感染症は、時代や地域によって自然環境や社会環境の影響を受け、発生や流行に違いが見られることを理解できるようにする。その際、交通網の発達により短時間で広がりやすくなっていること、また、新たな病原体の出現、感染症に対する社会の意識の変化等によって、腸管出血性大腸菌(O157等)感染症、結核などの a 新型感染症や b 再興感染症の発生や流行が見られることを理解できるようにする。

また、感染症のリスクを軽減し予防するには、衛生的な環境の整備や検疫、正しい情報の発信、予防接種の普及など社会的な対策とともに、それらを前提とした個人の取組が必要であることを理解できるようにする。その際、エイズ及び性感染症についても、その原因、及び予防のための個人の c 行動選択や社会の対策について理解できるようにする。

- ① a ○ b ○ c ○  
② a ○ b ○ c ×  
③ a ○ b × c ×  
④ a × b ○ c ○  
⑤ a × b × c ○

- (3) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における生活習慣病の予防に関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

生活習慣病は、日常の生活習慣が要因となって起こる疾病であり、適切な対策を講ずることにより予防できることを、例えば、心臓病、脳血管疾患、歯周病などを適宜取り上げ理解できるようにする。

その際、運動不足、食事の<sub>a</sub>タイミングやバランス、休養や睡眠の不足、喫煙、過度の飲酒などの不適切な生活行動を若い年代から続けることによって、やせや肥満などを引き起こしたり、また、心臓や脳などの血管で<sub>b</sub>血栓が引き起こされたりすることや、歯肉に炎症等が起きたり歯を支える組織が損傷したりすることなど、様々な生活習慣病のリスクが高まることを理解できるようにする。

生活習慣病を予防するには、適度な運動を<sub>c</sub>継続的に行うこと、毎日の食事における量や頻度、栄養素のバランスを整えること、喫煙や過度の飲酒をしないこと、口腔の衛生を保つことなどの生活習慣を身に付けることが有効であることを理解できるようにする。

- ① a × b × c ○  
② a ○ b ○ c ×  
③ a ○ b × c ○  
④ a × b ○ c ○  
⑤ a × b × c ×

- (4) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における身体の環境に対する適応能力・至適範囲に関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

気温の変化に対する体温調節の機能を例として取り上げ、身体には、環境の変化に対応した調節機能があり、一定の範囲内で環境の変化に適応する能力があることを理解できるようにする。また、屋内外での<sub>a</sub>熱射病や山や海での遭難などによる<sub>b</sub>凍傷などを取り上げ、体温を一定に保つ身体<sub>c</sub>の適応能力には限界があること、その限界を超えると健康に重大な影響が見られることから、気象情報の適切な利用が有効であることを理解できるようにする。

- ① a ○ b ○ c ○  
 ② a ○ b ○ c ×  
 ③ a ○ b × c ○  
 ④ a × b × c ○  
 ⑤ a × b × c ×

20

- (5) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における保健分野に関する内容の取扱いについての記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

実習を取り入れる際には、応急手当の技能の習得だけでなく、その<sub>a</sub>意義や手順など、該当する指導内容を理解できるようにすることに留意する必要がある。

また、実験を取り入れるねらいは、実験の方法を習得することではなく、内容について仮説を設定し、これを検証したり、解決したりするという<sub>b</sub>実証的な問題解決を自ら行う活動を重視し、<sub>c</sub>普遍的な事実や法則といった指導内容を理解できるようにすることに主眼を置くことが大切である。

- ① a ○ b ○ c ○  
 ② a ○ b ○ c ×  
 ③ a ○ b × c ○  
 ④ a × b ○ c ×  
 ⑤ a × b × c ○

21

(6) 次の文は、AED（自動体外式除細動器）の使い方の順を示したものである。文中の（ア）～（ウ）にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- 1 AEDの電源を入れる。
  - 2 傷病者の（ア）を取り除き、パッドを胸の（イ）と、左下に貼る。
  - 3 傷病者から離れる。
  - 4 AEDが心電図を解析し、電気ショックが必要かどうかを判定する。
  - 5 電気ショックが必要という判定が出たら、音声メッセージに従い、（ウ）を押す。
- ※ 自分や周囲の人が傷病者から確実に離れているか、確認してからボタンを押す。

- ① （ア） 雑菌 （イ） 右上 （ウ） ショックボタン
- ② （ア） 雑菌 （イ） 右上 （ウ） 可動ボタン
- ③ （ア） 衣服 （イ） 右上 （ウ） ショックボタン
- ④ （ア） 雑菌 （イ） 右下 （ウ） 可動ボタン
- ⑤ （ア） 衣服 （イ） 右下 （ウ） ショックボタン

22

(7) 次の文は、疾病の発生要因について説明した文である。文中の（ア）～（ウ）にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

主体の要因には、年齢、性、免疫、遺伝などの（ア）と、生後に獲得される運動、食事、休養や睡眠などの生活行動や習慣などがある。環境の要因には、（イ）などの物理的環境、有害化学物質などの化学的環境、ウイルスや細菌などの生物学的環境、人間関係や保健・医療機関などの（ウ）などがある。

- ① （ア） 原因 （イ） 温度や湿度 （ウ） 周辺的環境
- ② （ア） 素因 （イ） 建物や場所 （ウ） 社会的環境
- ③ （ア） 素因 （イ） 温度や湿度 （ウ） 周辺的環境
- ④ （ア） 原因 （イ） 建物や場所 （ウ） 社会的環境
- ⑤ （ア） 素因 （イ） 温度や湿度 （ウ） 社会的環境

23



(8) 次の文は、医薬品について説明した記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

・処方箋がなくても、自分で購入できる医薬品を(ア)という。  
・先発医薬品の特許が切れた後、他社が同じ成分で製造する医薬品を(イ)という。効能・用量などは先発医薬品と原則的に同じで、価格が安い。  
・医薬品の服用について、使用時間帯が決められているものがあるが、「食後」は食事のあと30分以内を、食間は食後(ウ)程度を、食前は食事の30～60分以内をそれぞれ指している。

- ① (ア) OTC薬 (イ) 安定確保医薬品 (ウ) 2時間  
② (ア) OTC薬 (イ) ジェネリック医薬品 (ウ) 2時間  
③ (ア) 市販薬 (イ) 安定確保医薬品 (ウ) 3時間  
④ (ア) 市販薬 (イ) ジェネリック医薬品 (ウ) 2時間  
⑤ (ア) OTC薬 (イ) ジェネリック医薬品 (ウ) 3時間

24

(9) 次の文は、個人の健康を守る社会の取組について説明した記述である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

保健機関には、保健所や(ア)があり、健康増進、病気の予防、環境衛生などの役割を果たしている。保健所は、原則、都道府県が設置するが、(イ)に基づいて大規模な市(政令指定都市、中核市その他定められた市)や特別区も設置することができる。医療機関には、主に病気やけがの診察、検査、治療を行う一定の数以上の入院ができる病院と、身近な医療を行う(ウ)がある。

- ① (ア) 保健センター (イ) 地域保健法 (ウ) 大学病院  
② (ア) 社会福祉施設 (イ) 健康増進法 (ウ) 診療所  
③ (ア) 保健センター (イ) 健康増進法 (ウ) 診療所  
④ (ア) 社会福祉施設 (イ) 地域保健法 (ウ) 大学病院  
⑤ (ア) 保健センター (イ) 地域保健法 (ウ) 診療所

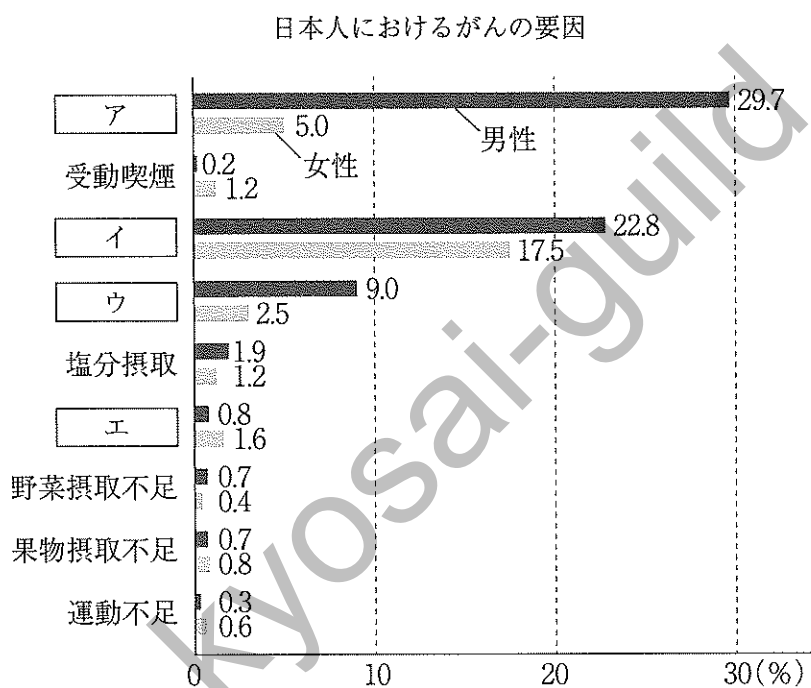
25

(10) 次の文は、交通事故の防止について説明した記述である。文中の（ア）～（ウ）にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

交通事故を防止するためには、まず、（ア）に基づく交通規則を理解し、その規則を守ることが基本となる。自転車は、原則として（イ）を通行することになっている。二人乗りをすると（ウ）以下の罰金または料金が適応される。

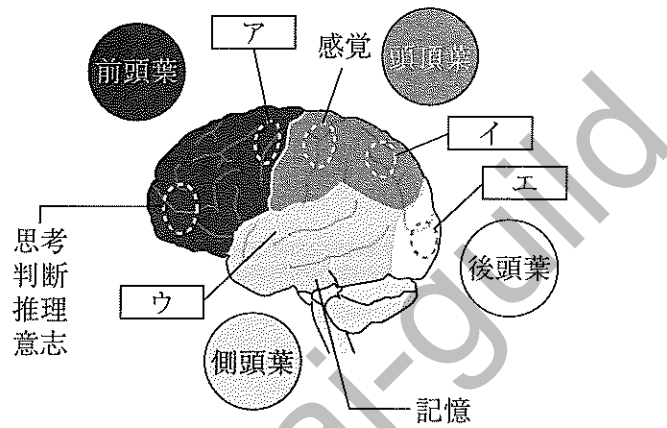
- |   |     |           |     |    |     |     |
|---|-----|-----------|-----|----|-----|-----|
| ① | （ア） | 交通安全対策基本法 | （イ） | 車道 | （ウ） | 3万円 |
| ② | （ア） | 道路交通法     | （イ） | 車道 | （ウ） | 2万円 |
| ③ | （ア） | 交通安全対策基本法 | （イ） | 歩道 | （ウ） | 3万円 |
| ④ | （ア） | 交通安全対策基本法 | （イ） | 車道 | （ウ） | 2万円 |
| ⑤ | （ア） | 道路交通法     | （イ） | 歩道 | （ウ） | 3万円 |

(11) 次のグラフは、日本人におけるがんの要因を示したものである。グラフ中のア～エにあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- |   |      |           |           |           |
|---|------|-----------|-----------|-----------|
| ① | ア 喫煙 | イ 細菌やウイルス | ウ 飲酒      | エ 過体重・肥満  |
| ② | ア 飲酒 | イ 喫煙      | ウ 細菌やウイルス | エ 過体重・肥満  |
| ③ | ア 飲酒 | イ 喫煙      | ウ 過体重・肥満  | エ 細菌やウイルス |
| ④ | ア 喫煙 | イ 細菌やウイルス | ウ 過体重・肥満  | エ 飲酒      |
| ⑤ | ア 喫煙 | イ 過体重・肥満  | ウ 細菌やウイルス | エ 飲酒      |

(12) 次の図は、脳の表面とその主な働きについて示したものである。図中のア～エにあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。



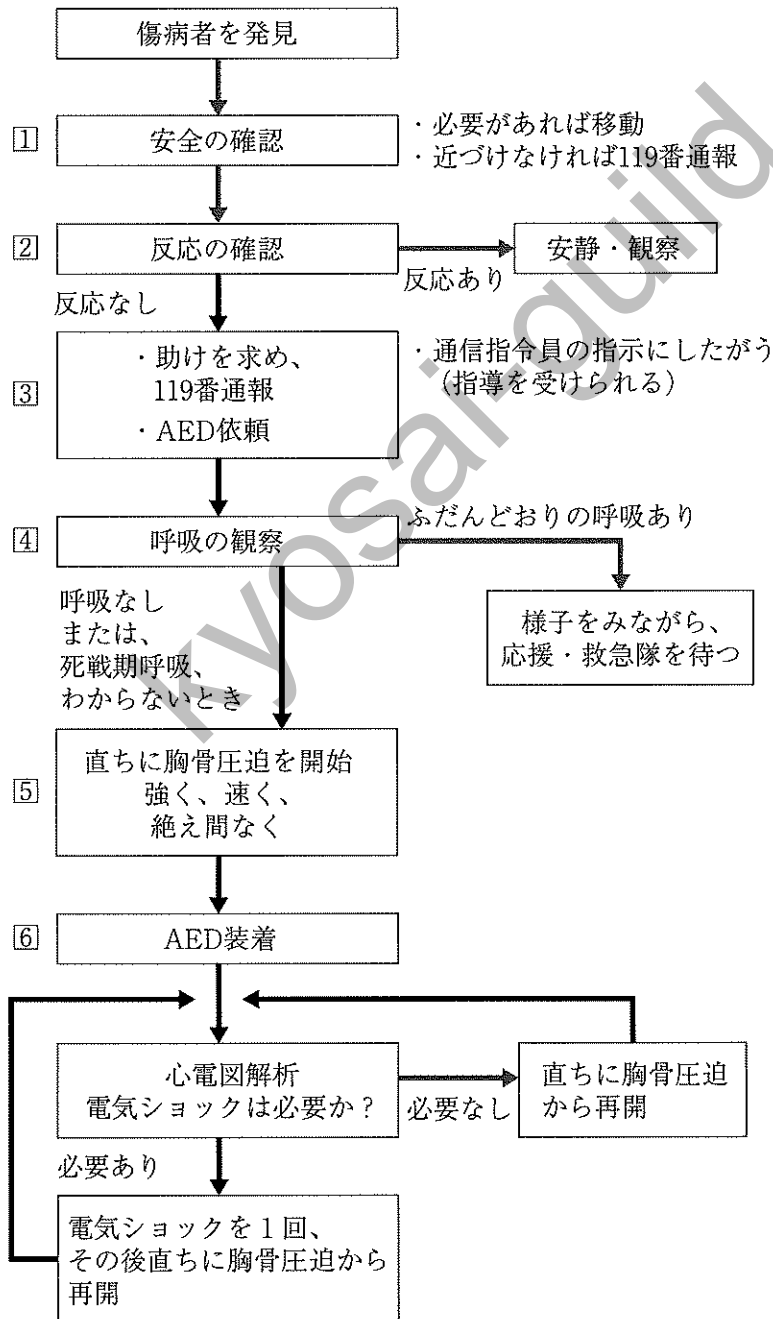
- |   |      |      |      |      |
|---|------|------|------|------|
| ① | ア 運動 | イ 触覚 | ウ 聴覚 | エ 視覚 |
| ② | ア 運動 | イ 視覚 | ウ 聴覚 | エ 触覚 |
| ③ | ア 視覚 | イ 聴覚 | ウ 触覚 | エ 運動 |
| ④ | ア 聴覚 | イ 触覚 | ウ 運動 | エ 視覚 |
| ⑤ | ア 触覚 | イ 運動 | ウ 視覚 | エ 聴覚 |

(13) 次の表は、薬物の心身への影響やおもな俗称について示したものである。表中の(ア)～(エ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

名称	(ア)	(イ)	(ウ)	(エ)
心身への影響	・幻覚・妄想 ・食欲・睡眠欲の低下 ・意識障害 ・突然死	・不安・不眠 ・腎臓・肝臓機能障害 ・記憶障害	・幻覚・妄想 ・呼吸困難による死亡	・幻覚・妄想 ・吐き気、めまい ・筋力の低下 ・平衡感覚障害 ・染色体異常
おもな俗称	スピード、エス、 アイス など	エクスタシー、 エックス、バツ など	コーラ、クラック、 スノウ など	ハッパ、チョコ、 ハッシュ など

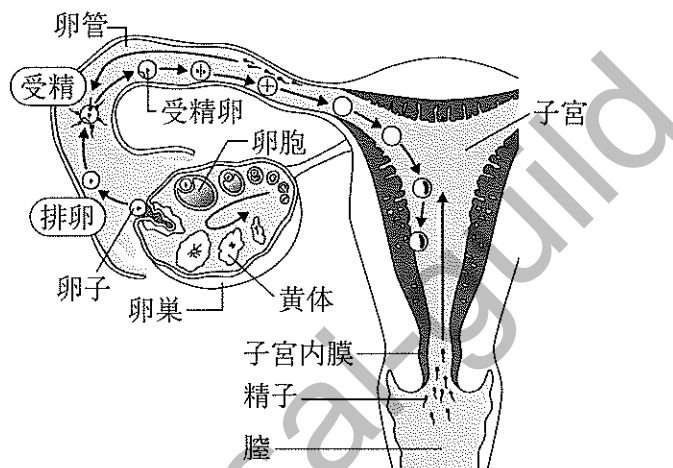
- ① (ア) 大麻 (イ) 向精神薬 (ウ) 覚醒剤 (エ) MDMA  
 ② (ア) MDMA (イ) コカイン (ウ) 向精神薬 (エ) 大麻  
 ③ (ア) コカイン (イ) 大麻 (ウ) 向精神薬 (エ) 覚醒剤  
 ④ (ア) 覚醒剤 (イ) MDMA (ウ) コカイン (エ) 大麻  
 ⑤ (ア) 覚醒剤 (イ) 向精神薬 (ウ) MDMA (エ) コカイン

(14) 次の図は、心肺蘇生法の流れを示したものである。その説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



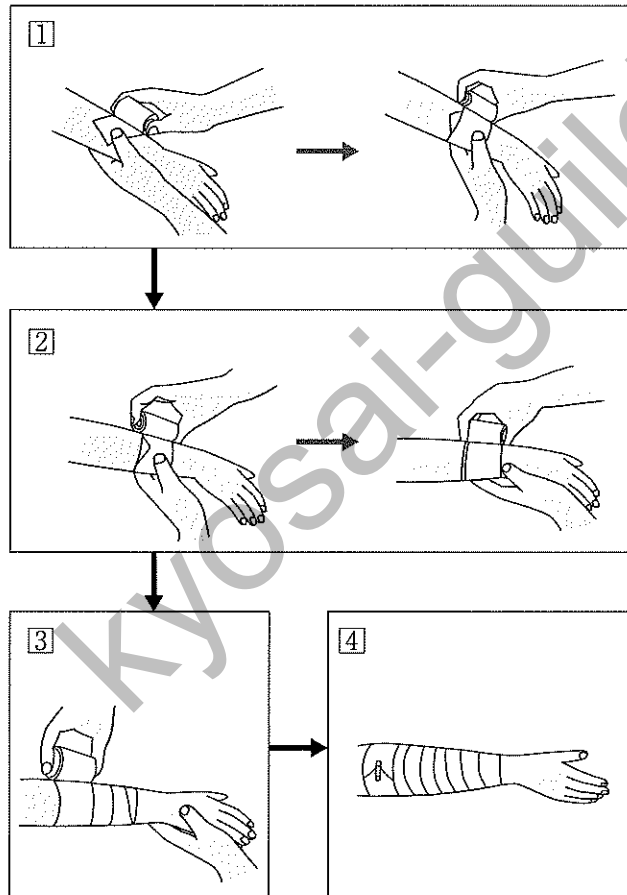
- ① ④の呼吸の観察はしっかり行うことが重要なので、10秒以上かけて観察する。
- ② ④の死戦期呼吸は呼吸を始めた場合なので、少し時間をおいて観察する。
- ③ ⑤の胸骨圧迫は、約5cm沈むよう圧迫する（小児を除く）。
- ④ ⑤の胸骨圧迫は、1分間に120～150回の速さで行う。
- ⑤ 胸骨圧迫と人工呼吸を組み合わせで行う場合は、胸骨圧迫20回＋人工呼吸1回を繰り返す。

(15) 次の図は、排卵から着床までの流れを示したものである。その説明として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① 女子の卵巢では、成長ホルモンの働きによって約1か月に1度、卵子が出され、これを排卵という。
- ② 卵子は卵管を通して精子と出会い、卵管に一定期間着床してから子宮に向かう。
- ③ 卵子と精子が出会い受精卵となることを妊娠という。
- ④ 受精した受精卵は子宮内膜に着床し、母体から酸素や栄養を受けるようになる。
- ⑤ 排卵の周期に合わせて、受精卵が着床できるように、子宮内膜は性腺刺激ホルモンによって充血して厚くなる。

(16) 次の図は、応急手当における包帯法の手法について示したものである。その説明として適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- ① ①では、包帯の端を斜めに当て、その上を1～2回巻く。
- ② ②では、包帯の端を折り返し、その上を覆って固定する。
- ③ ③では、包帯を1/2～1/3ずつ重ねて巻く。
- ④ ④では、前に巻いた包帯に重ねて1回巻いて留める。
- ⑤ 最後に包帯を留めるときは、傷の下や体の上になるところで留めない。



(17) 次の呼吸を意識したリラクゼーション（呼吸法）についての説明のうち、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 背筋を伸ばす。
- ② 体の力を抜いたまま、口からゆっくり息を吐く。
- ③ 下腹部に手を当て強く押す。
- ④ 下腹部の力を緩めて鼻から息を自然に吸う。
- ⑤ 吸ったり吐いたりを5～10分繰り返す。

【5】 体育分野に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第1学年及び第2学年の体づくり運動についての記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

体づくり運動の意義では、自他の心と体に向き合って心と体をほぐし、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、進んで運動に取り組む気持ちを高めたり、a 体の柔らかさ、巧みな動き、力強い動き、動きを持続する能力を高めたりするといった意義があることを理解できるようにする。

体づくり運動の行い方では、体ほぐしの運動においては、心と体の関係や b 心身の状態 に気付く、仲間と積極的に関わろうといったねらいに応じた行い方があることを理解できるようにする。

体の動きを高める方法では、ねらいや体力の程度に応じて、適切な強度、時間、回数、c 負荷量などを考慮した運動の組合せが大切であることを理解できる。

- ① a ○ b × c ○  
② a × b × c ×  
③ a ○ b ○ c ○  
④ a × b ○ c ○  
⑤ a ○ b ○ c ×

(2) 次の文は、新体力テストの実施方法についての記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・握力計は、指針が外側になるように持ち、人差し指の a 第2関節が、ほぼ直角になるように握りの幅を調節する。
- ・長座体前屈の初期姿勢は、両脚を両箱の間に入れ、長座姿勢をとる。壁に背・尻をぴったりとつける。ただし、足首の角度は b 固定しない。肩幅の広さで両手のひらを下にして、手のひらの中央付近が、厚紙の手前端にかかるように置き、胸を張って、両肘を伸ばしたまま両手で箱を手前に十分引きつけ、背筋を伸ばす。
- ・立ち幅跳びは、身体が砂場（マット）に触れた位置のうち、最も踏み切り線に近い位置と、踏み切り前の両足の中央の位置（踏み切り線の前端）とを結ぶ直線の距離を計測する。記録はセンチメートル単位とし、センチメートル未満は c 切り捨てる。

- ① a ○ b × c ○  
② a × b × c ×  
③ a ○ b ○ c ○  
④ a × b ○ c ○  
⑤ a × b ○ c ×

(3) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)の第3学年における、器械運動(マット運動)の基本的な技から発展技までを分類したものである。表中のア～エにあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

系	技群	グループ	基本的な技 (主に中1・2で例示)	発展技
回転系	接転	前転	開脚前転 →	ア
			→ 倒立前転	
	ほん転	後転	開脚後転	伸膝後転 → 後転倒立
			側方倒立回転 →	側方倒立回転跳び 1/4 ひねり (ロンダート)
巧技系	平均立ち	倒立回転跳び	倒立ブリッジ →	イ → 前方倒立回転跳び
		はねおき	頭はねおき	
		片足平均立ち	片足正面水平立ち →	ウ、Y字バランス
		倒立	倒立 →	エ

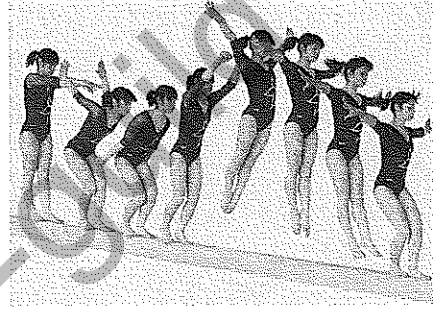
- ① ア 伸膝前転      イ 前方倒立回転      ウ 片足側面水平立ち      エ 倒立ひねり  
 ② ア 伸膝前転      イ 片足側面水平立ち      ウ 前方倒立回転      エ 倒立ひねり  
 ③ ア 前方倒立回転      イ 伸膝前転      ウ 片足側面水平立ち      エ 倒立ひねり  
 ④ ア 前方倒立回転      イ 片足側面水平立ち      ウ 倒立ひねり      エ 伸膝前転  
 ⑤ ア 伸膝前転      イ 倒立ひねり      ウ 前方倒立回転      エ 片足側面水平立ち

(4) 次の図は、器械運動の平均台運動の技である。図のア～エにあてはまる技名の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ア



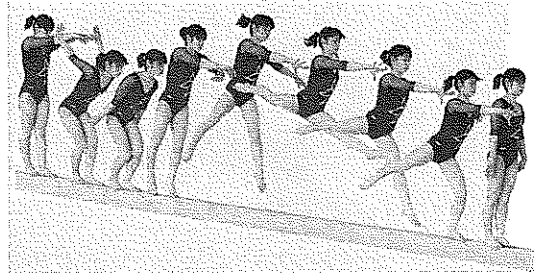
イ



ウ



エ



- |   |   |           |   |         |   |         |   |           |
|---|---|-----------|---|---------|---|---------|---|-----------|
| ① | ア | 片足前跳び片足立ち | イ | かかえ込み跳び | ウ | 前後開脚跳び  | エ | 伸身跳び      |
| ② | ア | 前後開脚跳び    | イ | 伸身跳び    | ウ | かかえ込み跳び | エ | 片足前跳び片足立ち |
| ③ | ア | 前後開脚跳び    | イ | かかえ込み跳び | ウ | 伸身跳び    | エ | 片足前跳び片足立ち |
| ④ | ア | 片足前跳び片足立ち | イ | 前後開脚跳び  | ウ | 伸身跳び    | エ | かかえ込み跳び   |
| ⑤ | ア | 片足前跳び片足立ち | イ | 伸身跳び    | ウ | かかえ込み跳び | エ | 前後開脚跳び    |

(5) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第3学年の陸上競技(短距離走・リレー)の例示に関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

・スタートダッシュでは地面を力強くキックして、a 徐々に上体を起こしていき加速すること。  
 ・後半でスピードが著しく低下しないよう、b 他者に合わせたピッチとストライドで速く走ること。  
 ・リレーでは、次走者はスタートを切った後スムーズに加速して、c バトンを受け渡すタイミングを合わせること。

- ① a ○ b × c ○
- ② a × b × c ○
- ③ a ○ b × c ×
- ④ a × b ○ c ○
- ⑤ a × b ○ c ×

(6) 次の文は、陸上競技のルールについて説明した文である。文中の(ア)～(ウ)にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

・400m以下の競走と、800mの途中までは、各自に割り当てられたレーンを走る。レーン幅は1.22mで、曲走路では(ア)の線を踏むと、レーン侵害の反則となる。  
 ・リレーのバトンパスは、テイクオーバーゾーンの(イ)の中で受け渡しを行わなければならない。  
 ・走り高跳びでは、バーを落としたり、バーを越える前に体の一部が支柱面から先の地面に触れると、(ウ)の無効試技になる。

- ① (ア) 左側 (イ) 20m (ウ) 1回
- ② (ア) 左側 (イ) 30m (ウ) 2回
- ③ (ア) 右側 (イ) 30m (ウ) 2回
- ④ (ア) 左側 (イ) 30m (ウ) 1回
- ⑤ (ア) 右側 (イ) 20m (ウ) 1回

(7) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第1学年及び第2学年の水泳について、身に付けるべき泳法に関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付けること。

ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり、a速く長く泳ぐこと。

イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり、b速く長く泳ぐこと。

ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり、c長く泳ぐこと。

エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。

- ① a ○ b × c ○  
 ② a × b × c ×  
 ③ a ○ b × c ×  
 ④ a × b ○ c ○  
 ⑤ a × b ○ c ×

40

(8) 次の文は、水泳競技のルールについての記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 背泳ぎでは、審判長の1回目の長い笛の合図で、競技者はプールに入り、2回目の長い笛でスタート台に向き、両手でスターティンググリップを持つ。
- ② 平泳ぎでは、スタート及びターン後に、最初の平泳ぎのけりの前に、バタフライキックが1回許される。
- ③ 自由形では、スタートやターンの後、壁より15m地点までに頭が浮上しなければならない。
- ④ 背泳ぎでは、ターン動作中は、肩が胸の位置に対して垂直以上に裏返しになってもよく、その後は速やかに一連の動作としての片腕あるいは両腕のかきを、ターンの初期動作に使用することができる。
- ⑤ バタフライでは、すべての足の上下動作は同時に行わなければならないが、平泳ぎの足のけりはスタート及びターン後に1回許される。

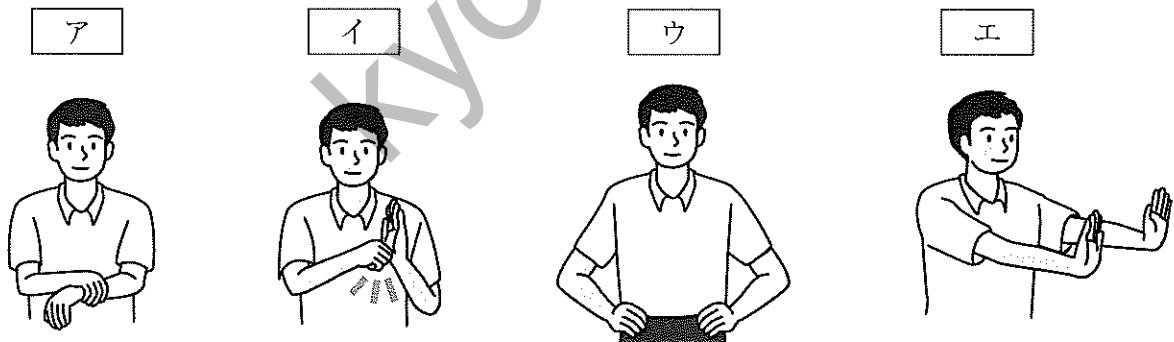
41

(9) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第1学年及び第2学年の球技ネット型についてボールや用具の操作に関する記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① サービスでは、ボールやラケットの中心付近で捉えること。
- ② ボールを返す方向にラケット面を向けて打つこと。
- ③ 味方が操作しやすい位置にボールをつなぐこと。
- ④ 相手側のコートの中空いた場所にボールを返すこと。
- ⑤ 腕やラケットを強く振って、ネットより低い位置から相手側のコートに打ち込むこと。

42

(10) 次の図は、バスケットボールの審判の合図である。図のア～エにあてはまるファウル名の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- |             |           |           |           |
|-------------|-----------|-----------|-----------|
| ① ア チャージング  | イ ブロッキング  | ウ プッシング   | エ ホールディング |
| ② ア プッシング   | イ ホールディング | ウ チャージング  | エ ブロッキング  |
| ③ ア ホールディング | イ チャージング  | ウ ブロッキング  | エ プッシング   |
| ④ ア チャージング  | イ ブロッキング  | ウ ホールディング | エ プッシング   |
| ⑤ ア ホールディング | イ プッシング   | ウ ブロッキング  | エ チャージング  |

43

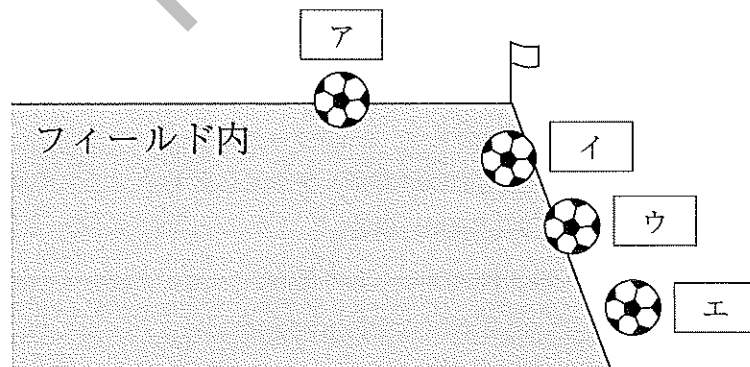


(11) 次の文は、ハンドボールのルールに関する記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① コートに出場できるのは7名までのプレイヤーである。
- ② スローオフは、センターラインの中央から1.5mの範囲に片足を置き、レフェリーの笛の合図から3秒以内にボールを投げる。
- ③ 攻撃やシュートの意図を示さずに、パスやドリブルなどをして、チームがボールを持ち続けると、パッシブプレイとして違反となる。
- ④ スローインの時は、相手チームのプレイヤーは、スローインを行うプレイヤーから3m以上離れなければならない。
- ⑤ 7mスローを行うプレイヤーは、7mラインの後方に立ち、ボールが手から離れるまで片足を床につけておく。レフェリーの笛の合図から5秒以内にシュートする。

44

(12) 次の図は、サッカーのボールの位置による、アウトオブプレイとインプレイを示している。図中のア～エにあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。



- |   |   |          |   |          |   |          |   |          |
|---|---|----------|---|----------|---|----------|---|----------|
| ① | ア | アウトオブプレイ | イ | アウトオブプレイ | ウ | インプレイ    | エ | アウトオブプレイ |
| ② | ア | インプレイ    | イ | インプレイ    | ウ | アウトオブプレイ | エ | アウトオブプレイ |
| ③ | ア | インプレイ    | イ | インプレイ    | ウ | インプレイ    | エ | アウトオブプレイ |
| ④ | ア | アウトオブプレイ | イ | インプレイ    | ウ | インプレイ    | エ | アウトオブプレイ |
| ⑤ | ア | アウトオブプレイ | イ | アウトオブプレイ | ウ | アウトオブプレイ | エ | アウトオブプレイ |

45

(13) 次の文は、バレーボールのルールについての記述である。文中の（ア）～（ウ）にあてはまる語句の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・すべてのセットはラリーポイント制で行われ、相手チームに2点差以上をつけて先に（ア）を得たチームがセットをとる。
- ・サーバーは、主審の許可の合図後、（イ）にボールを打たなければならない。
- ・リベロと他の選手の交代は（ウ）可能だが、交代は1プレイが終了したところで行う。

- ① （ア） 25点 （イ） 7秒以内 （ウ） 何度でも
- ② （ア） 20点 （イ） 8秒以内 （ウ） 何度でも
- ③ （ア） 20点 （イ） 8秒以内 （ウ） 1回のみ
- ④ （ア） 25点 （イ） 8秒以内 （ウ） 何度でも
- ⑤ （ア） 25点 （イ） 7秒以内 （ウ） 1回のみ

46

(14) 次の文は、卓球において、自分がポイントを失い、相手に1点が与えられる場合についての記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 故意にボールを続けて2回打った場合。
- ② 自分のコートにバウンドする前の相手の打球が、プレイングサーフェスの上方で、競技者自身あるいは競技者の着用または所持するものに触れた場合。
- ③ 自分のコートでボールが続けて2回バウンドした場合。
- ④ 規定のラバーがはられていない面でボールを打った場合。
- ⑤ サービスがネットアセンブリに触れて相手コートに入った場合。

47

(15) 次の文は、ソフトテニスにおいて、サービスがフォールトになる場合についての記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① サービスされたボールがネットまたはポストに触れた後、正しいサービスコートに入ったとき。
- ② サービスをしようとして手から放れたボールを打たなかったとき。
- ③ サービスをしようとしてボールがラケットに2回以上当たったとき。
- ④ 第1サービス、第2サービスともに失敗したとき。
- ⑤ サービスを空振りしたとき。

48

- (16) 次の文は、バドミントンの成り立ちについての記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

ラケットと羽根を使った遊びは世界各地で見られ、現在の競技の起源に関しては諸説あるが、最も有力とされているのは、aイギリスのバドミントン村で行われていた「バドルドア・アンド・シャトルコック」と呼ばれる羽根突き遊びで、これが後にバドミントンと呼ばれるようになった。日本には、b第二次大戦後に横浜の在留外国人を通して伝えられた。1899年から行われている全英選手権大会をはじめ、現在では世界各地で大会が開催され、1992年にオリンピックの正式種目となった。また、c2016年のパラリンピック・リオ大会から、パラバドミントンが正式種目となった。

- ① a ○ b × c ○  
② a × b × c ○  
③ a ○ b ○ c ○  
④ a × b ○ c ×  
⑤ a ○ b × c ×

49

- (17) 次の文は、ソフトボールにおいて、走者がアウトになる場合についての記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① タッチプレイを避けるため、塁間を結ぶ線から3フィート以上離れて走ったとき。  
② 投手の投球が、手から離れる前に塁を離れたとき。  
③ 後ろの走者が、まだアウトになっていない前の走者を追い越したとき。  
④ アウトになった打者・打者走者・走者または得点をした走者が、他の走者がいるときに守備妨害をした場合は、1塁に最も近い走者がアウトになる。  
⑤ 塁を離れているときに打球に当たったとき。

50

- (18) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第1学年及び第2学年の柔道の受け身に関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・横受け身では、体を横に向け下側の脚を前方に、上側の脚を後方にして、a 両脚と一方の腕全体で畳を強くたたくこと。
- ・後ろ受け身では、あごを引き、頭をあげ、b 両方の腕全体で畳を強くたたくこと。
- ・前回り受け身では、前方へ体を回転させ、背中側面が畳に着く瞬間に、c 両方の腕と両脚で畳を強くたたくこと。

- ① a ○ b ○ c ×  
② a ○ b × c ○  
③ a ○ b × c ×  
④ a × b ○ c ○  
⑤ a × b ○ c ×

51

- (19) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第3学年の剣道の基本動作の例示に関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・構えでは、相手の動きに a 左右されることなく自然体で中段に構えること。
- ・体さばきでは、相手の動きの変化に応じて b 体の移動を行うこと。
- ・基本の打突の仕方と受け方では、体さばきや竹刀操作を用いて打ったり、c しかけ技へ発展するよう受けたりすること。

- ① a ○ b ○ c ×  
② a ○ b × c ○  
③ a ○ b × c ×  
④ a × b ○ c ○  
⑤ a × b ○ c ×

52

(20) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第3学年のダンスで、生徒に身につけさせるべき事項に関する記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① ダンスの学習に自主的に取り組もうとすること。
- ② 仲間に課題を伝え合ったり教え合ったりして、互いに助け合い教え合おうとすること。
- ③ 作品創作などについての話し合いに貢献しようとする事。
- ④ 一人一人の違いに応じた表現や交流の発表の仕方などを指摘しようとする事。
- ⑤ 健康・安全を確保すること。

53

(21) 次の文は、ダンスの創作ダンスにおける隊形と説明の組合せである。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① シンメトリー → 二つの群が左右対称の動きをしている。
- ② アシンメトリー → 二つの群が左右で違った動きをし、空間内の関係性が広がって見える。
- ③ ユニゾン → 全員で同じ動きを行い、統一感や迫力を表現できる。
- ④ カノン → 輪唱のように動きをずらして次々と追いかけていく。
- ⑤ オープンポジション → 全員が二人で手をつないで、動きを大きく表現する。

54

【6】 体育理論に関する内容について、次の問いに答えよ。

(1) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第1学年及び第2学年の運動やスポーツの多様な楽しみ方に関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・ 世代や機会に応じて、生涯にわたって運動を楽しむためには、自己に適した運動やスポーツの a 多様な楽しみ方を見付けたり、工夫したりすることが大切であることを理解できるようにする。
- ・ 競技に応じた力を試す際には、ルールやマナーを守りフェアに競うこと、世代や機会に応じてルールを工夫すること、勝敗にかかわらず b 健闘を称え合う等の行い方があることなどを理解できるようにする。
- ・ 生涯にわたる豊かなスポーツライフを実現するためには、目的や年齢、性の違いを超えて運動やスポーツを楽しむことができる能力を高めておくことが有用であること、運動やスポーツを継続しやすくするためには、自己が意欲的に取り組むことに加えて、 c 仲間、空間及び用具を確保することが有効であることについても必要に応じて取り上げるようにする。

- ① a ○ b ○ c ×
- ② a ○ b × c ○
- ③ a ○ b × c ×
- ④ a × b ○ c ○
- ⑤ a × b ○ c ×

(2) 次の文は、「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(平成30年7月 文部科学省)における現代のスポーツの意義や価値に関する記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ・現代のスポーツは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしており、その代表的なものにオリンピックや<sup>a</sup>ワールドカップ等の国際大会があることを理解できるようにする。
- ・オリンピックムーブメントは、オリンピック競技大会を通じて、人々の友好を深め世界の平和に貢献しようとするものであること、また、パラリンピック等の国際大会が、障害の有無等を超えてスポーツを楽しむことができる<sup>b</sup>共生社会の実現に寄与していることについて理解できるようにする。
- ・競技会での勝利が個人や国家等に多大な利益をもたらすようになるとドーピング(禁止薬物使用等)が社会問題として取り上げられるようになったこと、ドーピングは不当に勝利を得ようとするフェアプレイの精神に反する不正な行為であり、能力の限界に挑戦するスポーツの<sup>c</sup>文化的価値を失わせる行為であることを理解できるようにする。

- ① a ○ b ○ c ×
- ② a ○ b × c ○
- ③ a ○ b × c ×
- ④ a × b ○ c ○
- ⑤ a × b ○ c ×

56

(3) 次の文は、「高等学校学習指導要領解説 保健体育編 体育編」(平成30年7月 文部科学省)における運動やスポーツの効果的な学習の仕方に取り扱われる内容である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 運動やスポーツの技能と体力及びスポーツによる障害
- ② スポーツの技術と技能及びその変化
- ③ 運動やスポーツの技能の上達過程
- ④ 運動やスポーツが心身及び社会性に及ぼす効果
- ⑤ 運動やスポーツの活動時の健康・安全の確保の仕方

57

(4) 次の文は、「中学校学習指導要領解説 保健体育編」(平成29年7月 文部科学省)における第3学年の体育理論の文化としてのスポーツの意義で取り扱われる内容に関する記述である。適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 現代生活におけるスポーツは、生きがいのある豊かな人生を送るために必要な健やかな心身、豊かな交流や伸びやかな自己開発の機会を提供する重要な文化的意義をもっていることを理解できるようにする。
- ② 国内外には、スポーツの文化的意義を具体的に示した憲章やスポーツの振興に関する計画などがあることにも触れるようにする。
- ③ オリンピック・パラリンピック競技大会や国際的なスポーツ大会などは、世界中の人々にスポーツのもつ教育的な意義や倫理的な価値を伝えたり、人々の相互理解を深めたりすることで、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしていることを理解できるようにする。
- ④ メディアの発達によって、スポーツの魅力が世界中に広がり、オリンピック・パラリンピック競技大会や国際的なスポーツ大会の国際親善や世界平和などに果たす役割が一層大きくなっていることについても触れるようにする。
- ⑤ スポーツには民族や国、人種や性、障害の有無、年齢や地域、風土といった違いを超えて人々を結び付ける社会的な働きがあることを理解できるようにする。

58

(5) 次の文は、オリンピック憲章に示されている、「オリンピズムの根本原則」から抜粋した記述である。文中の下線部 a～c の正誤の適切な組合せを①～⑤から選び、番号で答えよ。

スポーツをすることは人権の1つである。すべての個人はいかなる種類の差別も受けることなく、オリンピック精神に基づき、スポーツをする機会を与えられなければならない。オリンピック精神においては、a友情、b努力、cフェアプレーの精神とともに相互理解が求められる。

- ① a ○ b ○ c ×
- ② a ○ b × c ○
- ③ a ○ b × c ×
- ④ a × b ○ c ○
- ⑤ a × b ○ c ×

59



(6) 次の文は、パラリンピック東京2020大会をテレビ観戦した生徒が提出したレポートの内容である。間違った理解をしているため、助言しなければならない内容を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 車いすテニスは、ツーバウンドでの返球が認められているから、ボールを拾うまでの時間が確保できます。車いすテニスの選手と、私が普通にテニスをやったら、勝負になるのか試してみたくまりました。
- ② 車いすバスケットボールは、激しい攻防やスピーディーなパスワークがとても魅力的でした。使用するコートやリングの高さなどが特別なルールになっているので、その準備をしたうえで、私も車いすに乗って車いすバスケットボールを経験してみたいです。
- ③ ゴールボールは、鈴の入ったバスケットボール大のボールを互いに投げ合い、得点を競います。選手は障がいの程度に関わらず、「アイシェード」と呼ばれる目隠しを装着し、全盲状態でプレイするので、競技中は静かにする必要があります。目隠しをするので、目に障がいがある人も、障がいが無い人も、同じ条件で楽しめると思いました。
- ④ シットティングバレーボールは、床にお尻をつけた状態でプレイします。一般のバレーボールよりもネットの高さは低く、狭いコートで行います。レシーブの時には、短時間なら床からお尻を浮かしても大丈夫です。障がいが無い人も床に座ってしまえば、障がいのある人と同じ条件なので、一緒に楽しむことができると思いました。
- ⑤ ボッチャは、ジャックボールと呼ばれる白いボールを投げた後、対戦する両者がそれぞれ赤と青の6球を投げ合い、自分の球をよりジャックに近づけたチームまたは個人が勝者となります。障がいのない人が車いすに乗って行ったり、立ったまま行ったりしても一緒に楽しめると思います。立ってやっても、パラ選手にはかなわないと思いました。

kyosai-guild

教科名 ( 中高 保健体育 ) (120点)

マーク 番号	解答	配点	備考	マーク 番号	解答	配点	備考
1	2	1		31	4	2	
2	1	2		32	5	2	
3	3	2		33	3	2	
4	3	2		34	5	2	
5	1	2		35	3	2	
6	2	2		36	1	2	
7	5	2		37	5	2	
8	3	2		38	3	2	
9	5	2		39	4	2	
10	2	2		40	2	2	
11	2	2		41	5	2	
12	5	2		42	5	2	
13	4	2		43	3	2	
14	1	2		44	5	2	
15	3	2		45	3	2	
16	4	2		46	4	2	
17	2	2		47	5	2	
18	4	2		48	1	2	
19	5	2		49	5	2	
20	4	2		50	4	2	
21	2	2		51	1	2	
22	3	2		52	5	2	
23	5	2		53	4	2	
24	2,4	2	②④のどちらかを選択した 場合正解	54	5	2	
25	5	2		55	1	2	
26	2	2		56	4	2	
27	1	2		57	4	2	
28	1	2		58	5	2	
29	4	2		59	2	2	
30	3	2		60	2	3	